

議事概要記録

開催日時	平成 24 年 11 月 3 日 12:00～14:00	開催場所	公立那賀病院 会議室
会議種別	平成 24 年度和臨技第 5 回理事会	議 長	竹中
		書 記	田中(規)
出席者	玉置 達紀、畑 忠良、竹中 正人、大石 博晃、田中 規仁、 木下 博之、瀧谷 雅彦、脇村 小津江、須賀 洋、蓬台 克之、 瀧口 良重、今西 数彦、丸澤 佳子、 村田 正吾、勝山 浩樹 (15 名)		
欠席者	田中 久晴、栗林 伴有、	オブザーバー	
次 第	平成 24 年度第 5 回理事会		
議事概要	<p>報告事項</p> <p>会長報告 常務理事会会議録 事務局報告 学術部報告 経理部報告(予算案) 第 34 回和歌山県医学検査学会報告 各種委員会報告 公益事業活動(会議録・HIV 啓発・医療セミナー) 定款・渉外(衛生検査所指導員・WLCDE・県医療推進協議会・病院協会) 精度管理 データ標準化 会誌編集 ホームページ 会報 連盟 その他 H25 年度助成金 日臨技通知 共催・協賛・後援に関する内規 関西支部幹事会・近臨技理事会 会議録</p> <p>審議事項</p> <p>次年度事業計画と予算 公益事業 HIV/STD 啓発 乳がん啓発 医療セミナー 学術部 研究班 精度管理事業 会誌発行 表彰 事務局 月例行事予定表 ホームページ 会報 事務部 予算案 平成 25 年度定期総会について 施設長会議にむけて 第 35 回和歌山医学検査学会について その他</p>		
決議事項 及び 継続事項	<p>冒頭、会長から挨拶があった。</p> <p style="text-align: center;">報告事項</p> <p>・会長報告 日臨技関係：新年賀詞交換会が初めての試みとして行われた。</p>		

日臨技支部幹事会：幹事会と従来の近臨技理事会の合同開催について再考を促したが、認められなかった。

○和臨技関係

中村技師の知事感謝状贈呈が滞りなく行われた。

○他団体

病院協会学術集会にて、和臨技は第3会場担当した。

和歌山県糖尿病協会 WLCDE 認定委員会への和臨技からの協力体制についての会談報告があった。

医療推進協議会出席し、同会総会・役員改選を承認、また TPP の反対声明等の報告があった。

近大講師派遣について、超音波は日赤山本技師 (OB) を派遣、心電図については、講師派遣困難である事を回答したと報告があった。

○植山元会長の叙勲報告があった。

○臨薬協のプロモーションコード

同研修会に参加した報告があり、飲食に関する事項など一部改正されている旨の報告があった。

○成川会長の叙勲式典に出席した。(竹中副会長代理)

WLCDE について畑副会長より、免許更新が出来なかった CDEJ は WLCDE 制度の申請のみで資格取得可能か否かの質問あった。

回答：受講と受験は必要と考えるが、詳細は分からない。近々に HP が立ち上がるので様子を見たい。

来年度は春秋に講習会、後に試験の予定と聞いている (竹中副会長より補足)。

プロモーションについて、臨薬協から講師を招聘して勉強会が出来るかと大石経理部長より質問があった。

回答：前向きに企画します。事務局より、講習会開催を要請してみます。

・第4回常務会議事録報告

・事務局報告

病院協会学術集会に公立那賀病院 口広技師を派遣した。

和医大病院 井上技師を平成 24 年度和歌山県精度管理専門委員会として県庁に派遣した。

関西支部より協賛・共催・後援の取り決めについて通達があった。

52 回関西支部学会会長賞・特別賞を福井技師会会長 (53 回関西支部学会会長) に答申した。

和歌山労災病院山崎技師を院内感染対策講習会 (厚労省主催) に派遣、この後の和歌山学会関連事業として伝達講習会を予定。

ピンクリボン紀南から後援依頼を受諾した。

・学述部報告

○日臨技推進事業報告について

平成 24 年度推進事業 20 回実施終了した (満額の 100 万円助成済)

○学術部研究班平成 24 年度収支報告について

各班からの決算提出および班長班員会議終了後、収支報告書作成予定。

○班長班員会議について

3月9日(土) 14:30~16:30 済生会和歌山病院 7階講堂で予定
平成25年度研究班活動企画案作成

○和歌山県医学検査学会への学術部の関わり

座長選出と交渉については慣例により学術部に依頼されており、学術部に依頼する場合は、演題の割り振り等についても事前の協議をお願いしたいとの申し入れがあった。

○医学検査(2013 Vol.62 No.1) 和臨技推薦論文掲載について

「フィラデルフィア染色体陰性である慢性骨髄性白血病類縁疾患の2症例」
塩谷 千恵子 技師 社会保険紀南病院
を推薦したと、報告があった。

・経理部報告

大石経理部長が収支報告・予算案について説明があり、財政的に逼迫している事について変わりはない旨の報告があった。

管理費の、日本対がん協会の予算は実績がないので削除してはどうか(勝山監事) 承認された。

記念事業積立は、今年度・次年度0円で計上(緊縮財政の故、予算立てが出来ない)。事業予算縮小等により、平成26年度向けには若干の繰越金が見込めるので、平成26年度予算案から10万円の積立を目指したい(来年度の運転資金確保が前提)

最終的には定期総会で承認。

・34回和歌山県医学検査学会について

蓬台学会長より、学会関連行事を含めて会期開催している旨の報告と、開催にあたってのお礼があった。竹中副会長から労いの言葉があった。

・各種委員会報告

○公益事業について

世界エイズデーに係るHIV/AIDS事業終了(和歌山大学祭)の報告(畑副会長)があった。

セミナーinわかやまについて、盛会に終えた旨の報告(瀧口理事)があった。ABI等のイベント運営の仕方について反省点があったと旨の報告があった。

イベントの受付について脇村理事より質問があった。

回答:先着順が良いのか、講義と同時進行でのイベント開催が良いのか、等々今後の課題としたいとの回答(畑副会長)であった。

○定款渉外活動について

冒頭会長報告同様、和歌山県糖尿病協会WLCDE認定委員会に対して和臨技として広報等の取り組みや協力を行う旨の申し入れを行ってきたと報告があった。

○精度管理事業について

精度管理報告会をこの後の学会関連事業の一つとして行います。また、精度管理報告書は冊子の配布をやめて、CD配布となった旨の報告があった。

○データ標準化事業について

特に日臨技からは動向や報告はなし。

○精度保証申請について

和医大病院・紀南病院を日臨技に申請したと報告があった。

○会誌編集について

機関誌会誌和臨技を発刊したと報告があった。

また、機関誌名を「和歌山臨衛技」から「会誌和臨技」に名称変更し、同時に国会図書館国際標準逐次刊行物番号の変更をしたとの報告があった。

11編の論文投稿の他、報告寄稿も沢山あり、お礼の報告があった。

(後の審議事項承認後に)次年度は、表紙レイアウト変更、B5からA4にサイズ変更、発行部数を若干減らすと報告があった。

○HPについて

報告事項はなし

○会報について

今年度発行予定は、あと1回(平成24年度後期号)残っています。事務局よりあと1回発行を次年度事業として繰越して頂きたいと、申し入れた。

脇村理事から承諾頂いた。次年度総会時期に、新年度事業計画を含めた会報を発行すると報告があった。

・連盟について

連盟役員会に会長が代理出席。米坂知昭氏が自民党比例区から出馬予定。連盟として、米坂候補を正式に推薦すると報告があった。また、連盟会員比率が日本一なのは、和歌山県技師会であると報告があった。

・その他

○日臨技助成金について

予算委員会決定後に通知と日臨技より報告があった。

○協賛・共催・後援の取り扱いについて

日臨技関西支部を通して通達がありましたので、理事各位はご一読ください。

○関西支部会議録報告

近臨技研修会を支部研修会に引き継がれる。しかし、会計名目等が煩雑(日臨技に簡素化の申し入れている)な事、源泉税の扱い等、非常にややこしいので、和歌山県技師会が担当する時は心得ておいてください。(会長より)

審議事項

・次年度事業計画・予算

○公益

紀北・紀南乳がん活動について和臨技事業として積極的な活動(ブース設置や触診体験)を申請

世界エイズデー(和歌山大学)イベント、HIV/AIDS啓発講演人材育成活動、HIV/AIDS啓発出前事業等を申請

医療セミナーinわかやま については紀中開催を計画、内容は認知症についての審議があった

公益事業からの審議事項については全会一致で理事会承認された。

認知症と臨床検査の繋がりが分かりにくいと脇村理事より質問があった。

回答:過去に喫煙についてのセミナーがあった様に、市民公開講座として和

臨技が公益事業を行っているという事が大切なので、直接臨床検査と結びつかなくても良いのではないかと、畑副会長からの回答であった。

申請書類は全て、名称を一般社団法人和歌山県臨床検査技師会にするようにと指摘があった。

○学術部

管理者研修は予算緊縮のため次年度以降に持ち越し

精度管理事業については大幅な予算縮小再提出案を申請

その他、研究班勉強会や合同研修会、会誌発行の事業計画案を申請

機関誌について、サイズ変更や年間スケジュール確立等の申請

学術部研究班活動について

各研究班判断扱いであった実務委員の実務費等を統一（不公平感を無く）、実務委員（費）については、特別な理由が無い限り2名までの実務委員とする事（参加費は免除。交通費と日当支払わない）、等の研究班勉強会運営規約の確立を申請。

表彰審査について

平成25年度定期総会にて、平成23年度33回学会（田辺）と平成24年度34回学会（岩出）の特別賞を2名表彰する（ここで、本来の1名ずつ表彰する形式を平成26年度総会から戻す）、

特別賞の名称を学術奨励賞とする事、

平成23年度33回和歌山県医学検査学会より学術奨励賞として日赤和歌山医療センターの中家歩美技師

「当センターにおける基質拡張型βラクタマーゼ(ESBLs)産生菌の検出状況」を、

会誌和臨技40巻から会長賞として紀南病院の木下技師

「腹部超音波検査が診断に有用であったエルシニア腸炎の1例」を推薦する事について申請が有った。

学術部事業からの審議事項については全会一致で理事会承認された。

○事務局

会報について、

年3回発行から年2回発行への予算縮小案を申請

和臨技ホームページについて

和臨技HPへの求人掲載について、和臨技求人掲載の規定案を作成、内容について申請

理事会資料を事前にHPにアップ、理事がパスワードにてダウンロードする形を取りたい。

事務局からの審議事項については会報と和臨技求人掲載規定案については理事会承認された。

理事会資料の事前HPアップは否決。資料は事前に事務局にメール提出し、遅くとも理事会3日前にはメール配布完了。各理事は印刷のうえ持参する運用となった。

・定期総会について

前回の常務会において、25年度定期総会を5月18日と発案したが、全国学

会と重なっているため、1週間前倒しの5月11日開催で調整したい。
 議案書を5月初旬に配布するには、3月中に各部議案書草案提出・体裁作成、4月中旬に校了・印刷、4月下旬配布のスケジュールで進めたい。
 議案書の内容について村田監事から、予算案審議についての総会承認は必要なのではないか（理事会承認があれば要らない？）と指摘があった。日臨技事務局に一度問い合わせる事となった。

総会会期については全会一致で理事会承認された。

・理事会について

次回開催回数について、3か月毎から2か月毎開催への変更を具申。
 理由：3か月毎では理事会報告・審議事項が多く、理事会運営が非常に煩雑になり、時間切れも生じる。また継続審議事項についても内容の引継ぎが希薄になる危険性があるため。

理事会開催については全会一致で理事会承認された。

・施設長会議に向けて

次回総会で会費値上げをしたい。技師会として生涯教育・精度管理・公益事業の在り方や、財政が非常に逼迫している実情に、各種助成事業存続が不透明である事を含め各施設長に説明したい。なかでも、和臨技サーベイの無料実施は死守したいゆえに、会費の値上げを要請したい。また、各事業に関する質問に対しては担当理事から回答と説明をするよう会長から求められた。

施設長会議の趣旨については全会一致で理事会承認された。

・35回和歌山県医学検査学会について

次年度の和歌山県学会は紀南・南地区（会期会場は未定）開催を須賀理事に打診、受諾する旨の連絡があり、理事会承認された。

・その他

米坂選挙事務所から、玉置会長宛に和臨技会長として推薦書を頂きたい旨の要請があり、理事会審議となり、一般社団法人和歌山県臨床検査技師会長名で推薦状を送付する事で、理事会承認された。

記録作成	平成 25 年 3 月 10 日	氏 名	田中規仁	提 出	平成 25 年 3 月 11 日
------	------------------	-----	------	-----	------------------

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可